

## II. 患者コホート研究

# 3. Diabetes Distress and Care Registry at Tenri (DDCRT)

天理よろづ相談所病院内分泌内科 部長  
林野 泰明

### [Summary]

Diabetes Distress and Care Registry at Tenri (DDCRT) は、糖尿病患者の心理・行動医学的な問題の記述疫学的な検討は十分に行われていなかったことを背景に、2009年から天理よろづ相談所病院で開始されたコホート研究である。毎年、自記式の調査票を用いて患者自己申告情報を収集しており、検査データや治療内容、予後との関連を検討している。これまでに、心理的負担感やうつ病と血糖コントロールの関係、糖尿病患者における炎症反応とうつ病との関係、糖尿病治療関連 quality of life (QOL) とインスリン治療のアドヒアランス、心理的負担感と生命予後との前向きな関係などを明らかにしている。

### Key Words:

コホート研究 □ 患者自己申告情報 □ 糖尿病 □ 心理 □ 行動医学

### はじめに

Diabetes Distress and Care Registry at Tenri (DDCRT) は、2009年から天理よろづ相談所病院において行われているコホート研究である。糖尿病患者は一般人口と比較すると、うつ病を併発しやすいなど<sup>1)</sup>、心理・行動医学的な問題の頻度が高いことが諸外国において指摘されているが、当時わが国においては、糖尿病患者の心理・行動医学的な問題の記述疫学的な検討は十分に行われていなかったことが研究を開始した背景としてある。また、加えて、そのような問題が糖尿病患者の将来のアウトカムとどのように関連するのかについては、諸外国も含め、大規模研究において十分に検討されていなかった。本研究は、主には患者自己申告情報 (patient reported measure: PRM) と糖尿病関連のアウトカムの発症リスクとの関連を検討することを目的として開始された。本稿では、DDCRTの研究デザインについて解説するとともに、主に problem areas in diabetes (PAID) やうつ病尺度と糖尿病関連のアウトカムについて紹介を行う。

### 研究デザイン

本研究の研究デザインは前向きコホート研究である。対